



過去にはこんな被害が！

昭和56年大雨洪水被害、最近集中豪雨による災害が全国的に発生しています。幸いにも安平町では近年大きな災害はありませんが、過去には大規模な大雨による洪水被害が発生しています。右ページの写真は、その当時の記録です。

この災害は昭和56年8月に台風と前線の影響による集中豪雨に見舞われ、当時の追分、早来両地区に甚大な被害をもたらしました。(当時の広報紙を「あびら回顧録」で紹介しています。)

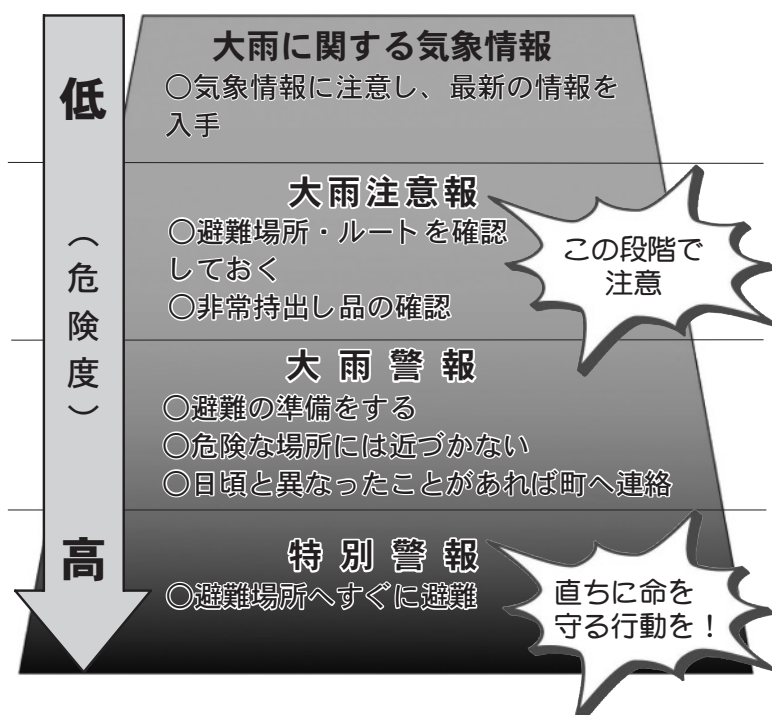
昭和56年8月発生「前線と台風の影響を受けた大雨災害」被害状況 (参考：追分町史、早来町史)		
	追分地区	早来地区
降雨量	283.5 ㎜	315 ㎜
住宅被害 (浸水)	床上 6戸 床下 43戸	床上 20戸 床下 16戸
土木被害 (川・道路・橋)	64カ所	53カ所
農業被害 (田・畑)	584 ㍓	1,011 ㍓

「特別警報」運用開始

気象台は8月30日から「特別警報」の運用を開始しました。

この「特別警報」は、上記にある昭和56年に安平町を襲った集中豪雨に匹敵する災害が見込まれるときなどに発表されます。現在の警報発表基準をはるかに超える大雨や地震、津波、火山噴火等により、重大な災害の起こる危険性が著しく高まっていることをお知らせし、特別な警戒を呼びかけます。

「特別警報」発表時は、数十年に一度しかない大雨や暴風等により非常に危険な状況です。周囲の状況や避難指示・勧告等に留意し、避難所への避難か屋内の比較的安全な場所への退避等、直ちに命を守る行動をとりましょう。



特別警報発表の際は、防災行政無線などで皆さんにお知らせし、避難指示・勧告等を行います。

特別警報の発表基準

気象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、または、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	
高潮		暴風が吹くと予想される場合
波浪		高潮になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/index.html>
 問合せ 室蘭地方気象台防災業務課 ☎ 0143 - 22 - 4249